



3.17 出生前検査と障害者の 尊厳・人権学習会のご案内

来る3月21日は世界ダウン症の日です。

この国連が認証した「啓発と活動をするための国際的な記念日」を目前に、政府と産婦人科医会がダウン症児に対する出生前診断を全妊婦向けに推進することが報道されました。茨城県ダウン症協会有志はこのことを深刻に受けとめ、昨年の世界ダウン症の日に立ち上げた署名キャンペーンに続き緊急学習会を企画しました。

営利的目的で出生前診断が拡大すると、障害を持つ人持たない人の住む日本社会はどうなっていくのかを明らかにしていきます。本学習会には親の会関係者、教員、人権研究者、福祉関係者、法律家、政治家等関係者にご案内をしています。それぞれの方が持つこの問題についての情報やご意見を自由に交換をする貴重な機会です。どなたでも参加できます。



「NIPT? 結構よ私は完全。」
優生思想の生まれた英国で
活動する Don't Screen
Us Out の HP より

テーマ：「出生前検査と障害者の尊厳、人権学習会」

日時：3月17日（木曜日）午後1:00～3:00（12:30から受付）

主催：茨城県ダウン症協会有志・DSIJ事務局

会場：場所：参議院会館102会議室（1階）。東京都千代田区永田町2-1-1

最寄り駅は東京メトロ有楽町線永田町駅での一番出口徒歩4分。

*国会議事堂前駅（7分）溜池山王駅（12分）

参加：どなたでも参加できます。入り口で申し出て参加証を受けて、
会議室にお進みください。参加費はありません。

集会ホームページ：
<http://dsij.jp/?p=1431>



ネット署名ページ：
<http://dsij.jp>



お問い合わせはこちら



基調講演：ダウン症を持つ人の命の尊厳と人権

—過去・現在・未来・国内国際的実情—

百溪英一（茨城県ダウン症協会事務局長、元国際ダウン症連盟 FIDS 理事、父親）

助言者：船橋秀彦（全国障害者問題研究会、茨城県障害者問題研究会代表）

*各政党の議員にも出席いただきます。討論時間もあります。

ダウン症の人が平等に評価される世界を作しましょう。
Creating a world where people with Down's syndrome are equally valued.

優生思想の生まれた英国で
活動する Don't Screen
Us Out の HP への QR コード

